

前 文

都市の窓を開こう、新しい家族を
育てよう、持続可能な社会をつく
ろう …………… 10

第1章

第四期基本構想・長期計画の前提
…………… 14

1 市勢と将来展望 …………… 14

2 長期計画策定方式 …………… 16

3 まちづくりの現状と課題、
新たな視点 …………… 17

4 策定期間とローリング
スケジュール …………… 17

5 これまでの成果 …………… 18

第2章

まちづくりの目標と圏域ごとの
まちづくり …………… 22

1 まちづくりの目標 …………… 22

2 個性を活かした圏域ごとの
まちづくり …………… 25

第3章

施策の大綱 …………… 30

I 健康で安らぎある生活を保障
する—健康・福祉 …………… 30

II 家庭と地域が支える
—子ども・教育 …………… 32

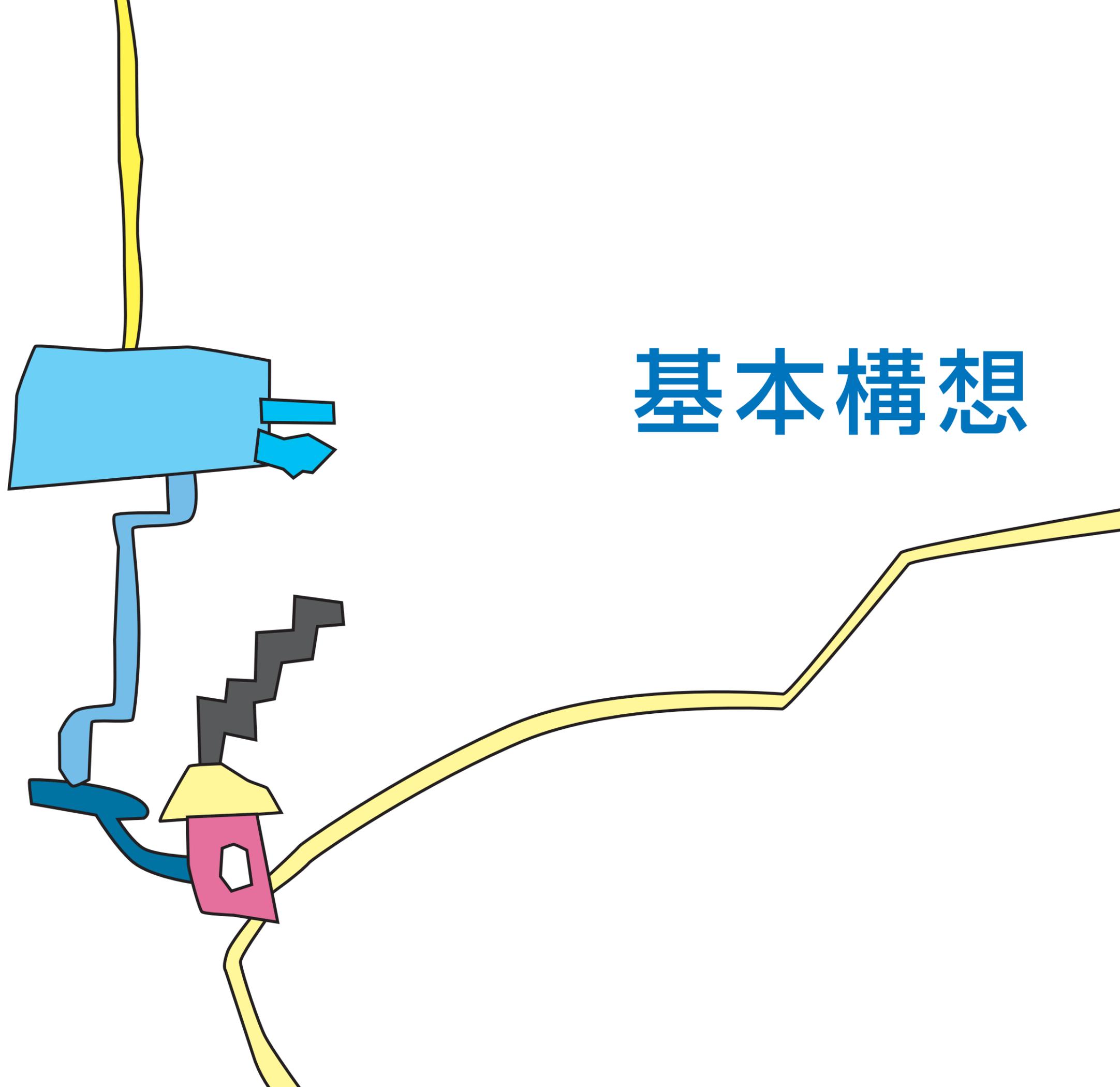
III 快適で豊かな都市文化をはぐ
くむ

—緑・環境・市民生活 …… 34

IV 安全で美しいまちを築く
—都市基盤 …………… 36

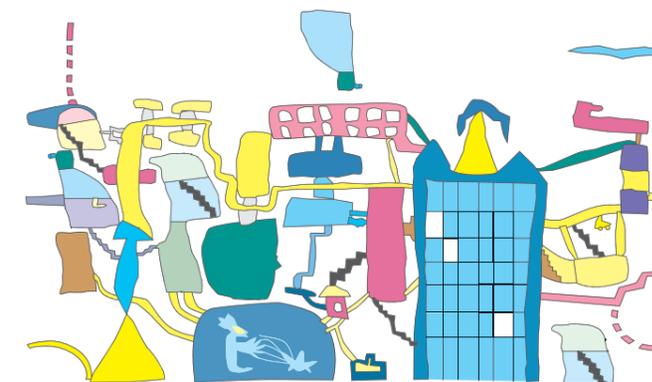
V 地方制度改革に対応して質の
高い市民サービスを提供する
—行・財政 …………… 38

基本構想



都市の窓を開こう 新しい家族を育て 持続可能な社会を

よう つくりよう



武蔵野市第四期基本構想・長期計画は、21世紀を迎えて初めての基本構想・長期計画である。本市は、1990年代の初頭、「平和」「自由」「豊かさ」を目標に第三期基本構想・長期計画を定めた。当時は20世紀で最も重要な歴史転換点として、社会主義国の終焉を迎えていた。新しい世界秩序がどのような方向で展開するのかを、世界中が模索していた時期である。以来10数年の歳月が流れ、自由と民主主義の伸長、世界統一市場の出現、グローバリズムとローカルアイデンティティの相克、ITの飛躍的拡大、地球環境問題など新しい状況を迎えている。

私たちは、武蔵野市の第四期基本構想・長期計画を策定するにあたって、「平和」「自由」「豊かさ」という第三期基本構想・長期計画の目標がますます輝きを増していることを確認しつつ、新しい状況を踏まえ、次のような目標を掲げたい。

1. 都市の窓を開こう
2. 新しい家族を育てよう
3. 持続可能な社会をつくりよう

都市の窓を開こう

21世紀は都市の時代である。人口1,000万を超えるメガロポリスは世界中で20都市を超え、それらは集積の利益を得て、繁栄している。私たち武

蔵野市も一見華やかに繁栄しているように見える。しかし、水・食糧・エネルギー・空気など、生存に必要な様々な要素を地方に依存している。都市は単立できない。都市の窓を開こう。地方の人々と連携しよう。世界の人々と手をつなごう。武蔵野市の窓は世界に開かれている。

新しい家族を育てよう

人間の生きる原点は、社会の最小単位、家庭・家族にある。家族がいて、家族と暮らして、人々は喜びや悲しみ、楽しみを共有し、生きている意味を実感できる。親子・兄弟・姉妹・親族を中心に、地域に新しい家族をつくりよう。住まいの窓を開けて、それぞれの生き方を尊重しながらも、助け合い励まし合う新しい家族を見つけよう。

持続可能な社会をつくりよう

20世紀は、人口が15億から60億へと4倍になった。この乗数に新世紀が適応することは不可能だ。21世紀は、人類にとって、地球の有限性が確認されて初めての世紀でもある。大気・エネルギー・物質・水循環など、生存に必要な全ての面で人類は運命を共にしている。膨張・拡大の20世紀から成熟・安定の21世紀へ。人類の英知によって持続可能な社会をつくるために、地球規模で考え、足元から行動を(Think Globally, Act Locally)。

今、武蔵野市から始めよう。